

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	しおじり健康応援ポイント事業
事業主体 (連絡先)	塩尻市
事業区分	2 保健、医療及び福祉の充実に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,094,684 円 (うち支援金: 598,000 円)

事業内容

- ① しおじり健康応援ポイント事業
25歳以上の住民を対象に、健診受診、ウォーキング、ラジオ体操など健康増進の行動にポイント付与し、運動習慣の定着を行った。実施期間は令和3年4月1日から令和4年2月28日。
- ② いきいき健康講座の開催
運動習慣の獲得や健康づくりに関心を持ってもらう機会をつくるために行った。ラジオ体操の普及をヘルスアップ委員が中心となり、ラジオ体操第一の効果的なポイントチラシを作成し、委員187人全員が2人以上の人に配布した。地区ごとにも配布した。



【ラジオ体操の普及】

【目標・ねらい】

- ①生活習慣（特に運動習慣）を改善する
- ②国保特定健診等の受診率向上

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①今年度の健康ポイント事業は初年度より40人少ない342人が参加した。健診受診を必須にしたことが減少の一因と考える。参加者アンケートで半数以上が事業による何らかの効果を感じており、85%の人が今後も取り組みを続けたいと答えた。特定健診の受診率も集団検診を再開し、向上したが、感染拡大前の受診率には戻っていない。
- ②いきいき健康講座等の開催により、定期的に運動に取り組む人が、講座開始前より増加した。ラジオ体操に取り組む人も増加した。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

令和4年度は新型コロナ感染拡大前の受診率に近づけるよう特定健診の受診勧奨や未受診者対策も含めて実施する。引き続き健康ポイント事業の周知を行い、さらなる参加者の増加を目指す。関係部署とも連携し、ウォーキングやラジオ体操などの運動を習慣づけるため、ヘルスアップ委員やスポーツ推進員などの協力のもとに普及、推進を図る。健康講座などにより運動の継続性を図る取り組みを行う。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

※自己評価【C】

【理由】前年と比較し特定健診の受診率は向上したが、令和元年度の受診率には届いていない。ポイント事業の参加者が健診受診が必須になったことにより前年より40人減少した。ヘルスアップ委員会の活動については、ラジオ体操の普及に尽力し、運動習慣の定着に寄与した。